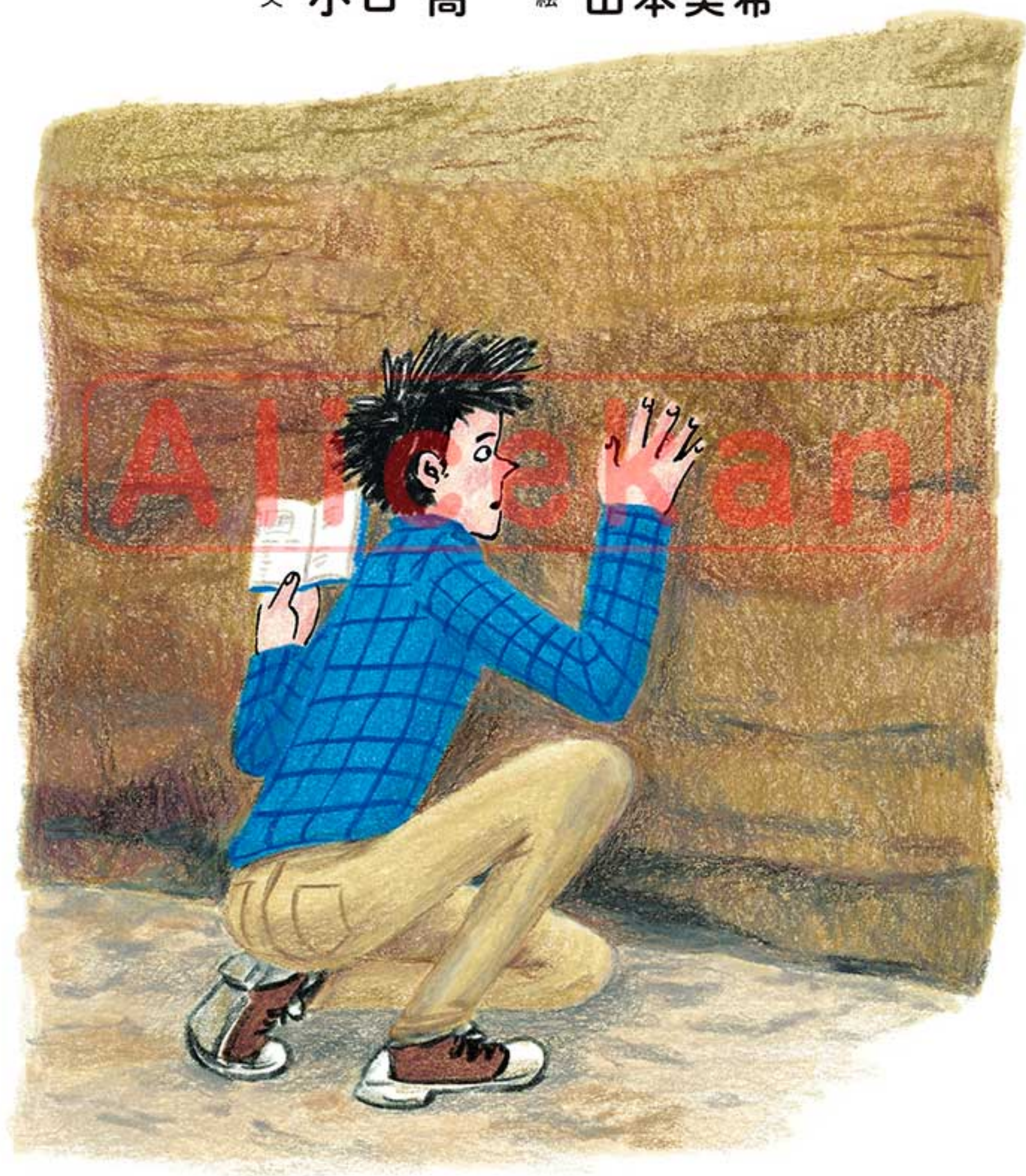


地理学者 シリアへ行く

文 小口 高 絵 山本美希



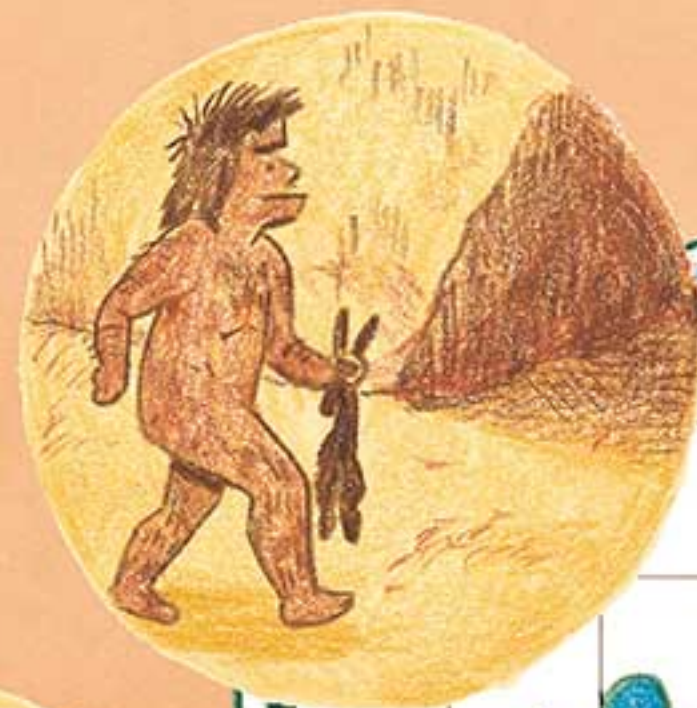
ぼくの^{しごと}仕事は、^{ちりがくしゃ}地理学者。

ぼくが^{けんきゅう}研究しているのは、みんなの^{あし}足もとにずっとひろがっている^{じめん}地面、
そして、その^{した}下にかさなる^{つち}土。



46億年前に地球が誕生してから、地面は、川の流れ、山くずれ、
そして火山の噴火などによって、かたちをかえつづけてきました。
今は高い山々がそびえたつ場所も、はるか昔は海の底だったかもしれません。
乾燥して草が1本もはえていないような荒野も、
かつては緑ゆたかな草原だったかもしれません。

地面を歩き、そこにある土や石ころ、地面のかたちをじっくり観察して、
千年、数万年、数十万年前にこの場所がどんな場所だったのか、
また、今の景色がどうやってつくられたのかを考えるのが、ぼくの仕事です。



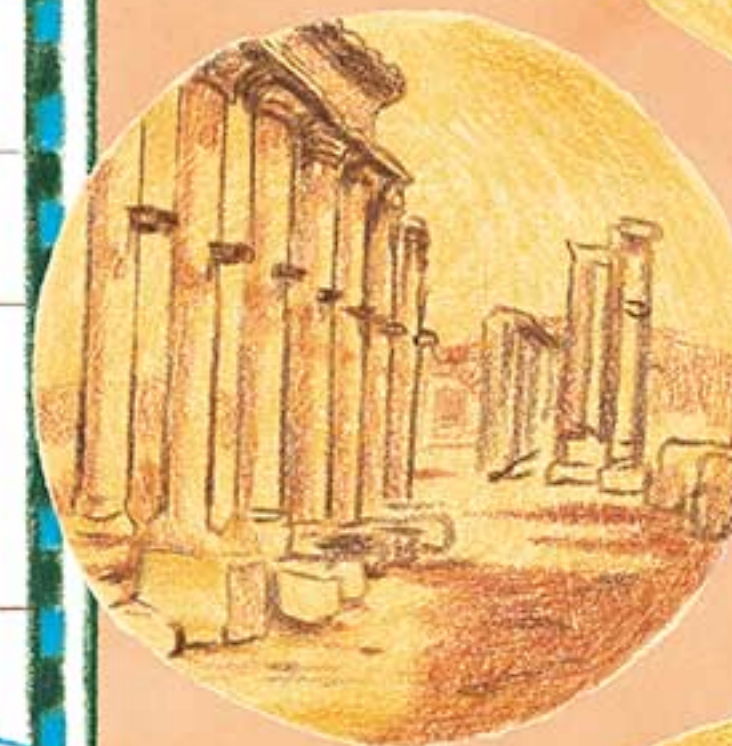
ゼノビア女王
3世紀なかば、
パルミラ2代目の
支配者になる。
兵を率いたことから
「戦士女王」とも
よばれた。



アレッポ城
元々は紀元前10世紀ごろに建てられた神殿。
12世紀ごろ城へと改築された。



ウマイヤド・モスク
世界でもっとも古い
イスラム教の
礼拝所のひとつ。



パルミラ神殿
砂漠のなかのオアシス都市。
シンボルであるベル神殿は
紀元後32年に建てられた。

クラック・デ・シュヴァリエ
11~13世紀、十字軍時代に
建てられた城。
高さ650mほどの
丘の上に築かれた。



シリアは、トルコ、レバノン、イスラエル、ヨルダン、イラクという
5つの国にかこまれた、中東の国です。日本の半分かほどの大きさの国土は、
砂漠が半分以上を占めますが、北西部は海に面しています。
その歴史は古く、聖書にも登場する首都・ダマスカスは
1万年前ころから人があつまり、世界でもっとも古い都といわれています。

また、中央部にある都市・パルミラは、砂漠を行き交う商人たちに
「バラの街」とよばれ、アジアとヨーロッパを結ぶ場所として栄えました。
美しい遺跡があちこちにのこるこの国では、
古代からさまざまな民族、国、そして文化が、複雑にかさなりあっています。

みえてきた！

